

慢性蕁麻疹様症状から治療を始めた小児アトピーの経過 (2歳女児)

症例 ID：001-02-HM2 | 記録日：平成 14 年 11 月 11 日

1. 診断・治療前経過

平成 13 年 10 月頃から、毎日のように全身に蕁麻疹が出るようになりました。出生時から診察を受けていた病院では、季節的に出る蕁麻疹とされ、外用薬が始まりました。

一時的に症状は治まったように見えたのですが、1 か月ほどすると体の柔らかい部分に湿疹が出るようになり、その後は蕁麻疹も再び出ました。慢性蕁麻疹の可能性が高いとされ、内服薬と外用薬が始まりましたが、6 か月以上経過しても湿疹と蕁麻疹は治まらず、症状は悪くなっているようにみえました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	来院前の医療機関ではステロイド等は使用しないと説明されていました。実際の使用歴は不明です。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	不明です。
中止時期	不明です。
来院前／後	不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
平成 13 年 10 月頃	来院前	毎日のように全身に蕁麻疹が出るようになりました。
その後 1 か月頃	来院前	体の柔らかい部分に湿疹が出て、蕁麻疹も再び出ました。
6 か月以上	来院前	内服薬と外用薬を続けても湿疹・蕁麻疹が治まらず、かゆみで睡眠不足とストレスが強くなりました。
松本医院受診後	治療開始	アトピーとされ、治療を開始しました。最初は半信半疑ながら 6 か月は続ける方針にしました。
治療当初	初期	消毒や入浴のたびに泣く子どもを押さえながら行う必要があり、親子とも負担が大きい時期でした。
4 か月頃	回復傾向	日に日に症状が良くなり、以前の状態が想像できないほどに回復しました。子どもも毎日喜んで入浴するようになりました。

4. ピーク時期

ピークは、来院前に湿疹と蕁麻疹が 6 か月以上治まらず、常時かゆみを訴え、親子とも睡眠不足とストレスが強かった時期です。治療当初も消毒・入浴で泣き叫ぶ状態が続きました。

5. 困りごと

- ・慢性的なかゆみで子どもと家族の睡眠が妨げられました。
- ・治療当初の消毒や入浴時に子どもが泣き、親が押さえながら行う必要がありました。
- ・長期間変化がなく、親子とも精神的に追い詰められる時期がありました。

6. 経過のまとめ

来院前は湿疹と蕁麻疹が6か月以上続き、親子とも睡眠不足とストレスが強い状態でした。治療当初も消毒や入浴の負担がありましたが、4か月頃から日に日に症状が良くなりました。

その後は、以前の状態が想像できないほどに回復し、子どもも毎日喜んで入浴するようになりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。